

# ほゆう

会報 101号

平成14年(2002) 11月例会時発行

〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222

北総歩こう会事務局

TEL・FAX 04-7143-5340

10月の例会レポート「七廻道手賀沼W」

## よみがえれ美しい手賀沼に

例会リーダー 藤井 順一

心地良い秋晴れの中、約 300 名という沢山の参加を頂きまして有難うございました。

北総歩の通常の例会では、ほとんどが団体 W ですが、今回の七廻道手賀沼 W では手賀沼を巡るというコースの特長を活かして自由歩行で実施致しました。10km コースは沼を半周・20km コースは一周ですが、トイレの関係で途中から湖畔を離れて手賀沼を望む「手賀の丘公園」へと進むコースを設定いたしました。手賀の丘周辺についてはコースが分かり難く、コース地図の中に詳細図を入れたり、コース上には誘導等の役員を配置し、参加者の皆さんが安心して歩けるように配慮いたしました。手賀沼湖畔には見所も沢山あり、地図の中にもその一部を載せましたが、いかがだったでしょうか？記載した以外にも「愛姫の伝説」「柏町営水泳場跡」や、文人達が愛した湖畔にはその説明なども各所にあり、手賀沼 W ならではの楽しみ方も色々あったのではないのでしょうか？

出発式では「コースアウトも OK、ゆっくり、ゆっくり秋の日を愉しんで来て下さい」とお願いさせて頂きましたが、お天気も手伝ってくれて参加者の皆さんは思い思いの歩き方や楽しみ方で、素敵な笑顔で戻ってまいりました。

ゴール時の混雑も特に無く、会場内の芝生の上ではあちらこちらで談笑の輪が広がっておりました。当日は本部待機となり、皆さんと歩けなくてとても残念でしたが、参加者の皆さん一人ひとりが手賀沼の魅力を再発見してくれたのではないのでしょうか。

今回は下見を 2 回、自転車での距離測定を 1 回、前日の最終チェックと万全を期して対応しましたが、細部についてはまだまだ改善する余地も有りましたので、今後に活かしていきたいと思っております。

参加賞として配布いたしましたカードケースにつきましては、参加者の皆さんから例会の度にご好評を頂いております完歩証を入れていただければ幸いです。

参加者の皆様と役員各位のご協力、大変有難うございました。最後に、今後もっともっと手賀沼の浄化が進む事を願っております。(例会担当……市川操・岡崎千代子・宮崎篤司)



手賀沼公園での出発式



## ふぁみりーウォーク

※ この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。  
「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。参加費(100円)  
集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

☆ 11月16日(土) 野田南部地区巡り 約8km (担当・川村 正弘)  
集合・出発：東武野田線梅郷駅 解散：東武野田線野田市駅

☆ 12月21日(土) 年忘れ相馬霊場巡り  
約7km (担当・小林 直之)  
集合・出発：関東鉄道常総線寺原駅  
解散：常総線新取手駅

☆ H15.1.18(土) 年初め流山の七福神  
約7km (担当・小林 直之)  
集合・出発：東武野田線 初石駅  
解散：東武野田線 豊四季駅



10/19 将門神社を参拝する参加者

※問い合わせ先 04-7184-4353 (菊池 靖) 19時~20時のみ

# 想い入れの下見歩る記

—9—

## 古利根沼巡り ② 下見でバツタリ……。

崖っぷちを一人で登った。そんな元気だったKさんが突如体調を崩して入院。例会の日時も迫り大変だ。本番当日へ向け、地元の一員として教えられたコースを一人で下見した。

古利根沼で、「Kさんはここから登ったんだ」と、思い返しながら。一日も早いご快復を願いつつ先へ進んだ。

解散場所は『竜泉寺』。相馬霊場第76番札所、その下見で通った大師道を抜け、横手から本堂前に出た。ところがビックリ！本堂正面から歩いて来たのがYさん、境内中央でバツタリ！お互い、何でここへ来たのか一言も触れない。やっぱりサブリーダーとしての責任から、遠路はるばる下見に来たのだ。(本番一週間前)

これがボランティアの真の姿なんだと教えられ、思いやる気持ちの大切さを肌で感じたその瞬間だった。偶然、奇遇に酔いしれながら中華ソバ屋で歩け談義に花を咲かせた、昼食の一時だった。

丁度、この例会は「市川歩こう会」との初の交流も兼ね、ゴール後の懇親会も和気藹々。『お隣同士の「歩こう会」の今後の発展の為に、有意義な例会だった』という爽やかな思い入れがある。平成7年3月の事である。(直翁)



市川歩会の皆さんと一緒に

## 例 会 の 案 内 板

### ☆ 12月例会 望年ウォーク 「柴又帝釈天から戸定歴史館へ」

柴又帝釈天→松戸神社→戸定邸。水戸藩最後の藩主、徳川昭武の別邸へ。希望者は見学も出来ます。→千葉大学園芸学部の内を歩きます。

\*開催日：平成14年12月15日(日) 13km

\*集合場所：JR常磐線金町駅2分・東急ストア広場

\*集合時間：9:00 (改札口より案内あり) 昼食：戸定が丘歴史公園

\*解散：15:00頃 松戸Dマート前公園

(例会リーダー 清水 完浩)

### ☆ 平成15年 CWA 新年初顔合わせ 開催日1月13日(月) 詳細は次号にて

### ☆ 平成15年1月例会 「歴史と文化の散歩道」

都内に残る江戸時代、明治時代の歴史と文化の道を歩きます。雑司ヶ谷の鬼子母神・徳川五代将軍綱吉の母桂昌院の菩提寺護国寺・徳川家ゆかりの伝通院・千姫の墓・文京区菊坂の樋口一葉の住居跡・東大赤門・湯島天神・神田明神を散策します。

\*開催日：平成15年1月19日(日) 15km

\*集合場所：JR山手線池袋駅東口徒歩5分 南池袋公園

\*集合時間：9:00 (改札口より案内あり)

\*解散：JR・千代田線御茶ノ水駅15:00頃

(例会リーダー 宮崎 篤司)

※例会行事問合せ先 04-7367-7556 森 禎之 19時~20時のみ



10/13 手賀沼Wであけぼの橋を渡る参加者の皆さん

ほゆうウォークコーナー 泉 狂歩  
 風の色 求めて歩む 秋三日  
 虫の音と 川の流れと 風の音  
 濡れそぼつ 梢に赤き 木守り柿  
 木陰風 鎮守の杜で ひと休み  
 こちよき 風にうなづく すすき哉  
 息白し いざ出立の 武者震い  
 狂い歩き 十七文字で 綴る旅

## ある日ある時あるウォーク

日本縦断ウォーク ラストステージ 札幌～宗谷岬間 373km  
平成 14 年 9 月 14 日～22 日

札幌駅をスタートし、まもなく札幌時計台を通過、時刻は 9 時 30 分を指していた。豊平川の河川敷沿いに自転車道を見付け、歩き易い道を快調に進む。真っ青な空、流れる羊雲、北の大地を旅している気分は最高。

実は 6 月の沖縄の旅以来、体調を崩し心配していたが、歩き始めてみれば何の事は無い何時もの 6 キロペースだ。岩見沢の宿、夕食はイクラ丼！さすがは北海道である。

翌日は石狩平野を歩く。美唄～滝川間は《直線道路日本一 29,3 キロ》アップダウンはあるが、何処までも続く一本道だ。滝川の旅館に入る曲がり道にホッとする。こんな体験は初めて。

「北海道を歩き旅している」と小生。「あんたあー、いい人生おくらっているなあー」と宿の主人がビールを一本サービスしてくれた。なんとなく嬉しくなる。

3 日目は峠越えの最長区間 60 キロなので 7 時に出発する。留萌は、「夕日百選」に選ばれた町である。夕暮れになり、絹雲が朱に染まりだした。陽も落ちた 6 時に、ホテルに到着する。

ここからはオロロン街道。最近出来た「苫前温泉ふわっと」「初山別岬温泉」「てしお温泉夕映」と露天風呂から夕日を眺めるまさに温泉三昧、旅の疲れが癒される思いだった。

手塩から豊富温泉に行く途中、札幌から歩いている旅人に出会った。同じ宿を取り、ウォーク談義に花が咲く。翌日も午前中は一緒に歩き、昼食後に別れて私は一路稚内へ。

最北の街、稚内のホテルで名月を眺め日本縦断の旅を想い、感傷に浸りながら杯を干す。いよいよ明日はゴールの宗谷岬だ。

ラストウォークの 28 キロは、追い風に乗って絶好調。9 月 22 日 12 時、ついに《最北端の地の碑》の前に立つ。歩き始めて 15 年、念願の『日本縦断の旅』完歩！！

現役中に「地球一周 4 万キロ」「47 都道府県訪問」「日本列島縦断」の夢を達成できた事が最高の喜びです。(H.14.9.22 日)

【編集後記】全国各地を歩く旅で創作された句を、86 号から「ほゆうウォークコーナー」に投稿されて頂いた泉氏の旅も宗谷岬で終わった。したがってこのコーナーも終る。長い間のご協力に感謝したい。2002 年も残り少なくなり、師走の風は身に凍みるが我等ほゆう仲間の胸は熱く燃えている。明日に向かって一歩遊人一編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石 6-187-43 Fax 04-7154-0170 TEL090-9298-3794 18:00～21:00 受付 Eメールmoon@mail.wics.ne.jp 常時

## 泉 狂歩



ほゆうウォークコーナー 泉 狂歩  
ひつじ雲 北の大地を 我と行く  
こごち良き 風にすすきも 頷けり  
絹雲を 朱に染めあげて 秋日落ち  
名月や 最北の街 旅想う  
札幌から宗谷岬への一人旅